

【令和7年 横手警察署管内の不審電話や詐欺被害について】

警察職員や金融機関職員をかたり、個人情報や口座情報を聞き出そうとしたり、SNSで知り合った相手に好意や親近感をいだかせて信用させ、現金や電子マネーを購入させて番号を聞き出すなどの詐欺の手口があります。
このような電話があった場合は、特殊詐欺を疑い、すぐに警察に相談してください。
防犯機能付き電話の利用や、電話の相手に録音していることを知らせることも特殊詐欺の被害防止に効果があります。また、国際電話がつかわれる場合もありますので、「+」から始まる電話番号に注意してください。

No.	標 題	発生日時	相談者	被害金品	概要
1	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年12月31日（火）から令和7年1月5日（日）まで	横手市居住の40代男性	現金12万6,000円	令和6年12月31日、マッチングアプリで女性を名乗る者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分が経営しているショッピングサイトがある」「私たちの将来の資金を貯めるためにやってみないか」等とショッピングサイトの運営を勧められ、相手から送られてきたURLにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、同サイトの運営者をかたる者から、売上金を受け取るには、先に商品の仕入代金を振り込むように指示され、個人名義の口座に12万6,000円を振り込み、だまし取られたもの。
2	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年11月下旬から同年12月20日（金）まで	横手市居住の40代男性	現金合計283万円	令和6年11月下旬頃、インスタグラムで女性を名乗る者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分の給料に満足しているか」「ネットショップを開業、経営してみないか」と勧められ、相手から送られてきたURLにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、LINEでコールセンターを名乗る者から、商品仕入れ費用名目で、指定された複数の個人名義の口座に現金を振り込むよう指示され、8回にわたり現金合計283万円を振り込み、だまし取られたもの。
3	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年12月27日（金）から令和7年1月14日（火）まで	横手市居住の40代男性	現金約645万円	令和6年12月27日、マッチングアプリで女性をかたる者と知り合い、LINEで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手からSNS上で広告を配信すれば、後に利益が振り込まれるが、そのためには先に広告配信費用として現金を振り込む必要があると言われ、指定された口座に7回にわたり現金合計約645万円を振り込みだまし取られたもの。
4	愛知県警をかたる不審電話の発生について	1月20日（月）午前10時30分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「+8」から始まる番号から電話があり、愛知県警をかたる男から「会社の詐欺グループを捜査している、過去にキャッシュカードを落としていないか、愛知県警に来られないか」などと言われた。相談者が電話番号を聞いたところ、「システム上110番すればつながる」などと言われたため、不審に思い、電話を切った。
5	愛知県警をかたる不審電話の発生について	1月20日（月）午後0時40分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「+8」から始まる番号から電話があり、愛知県警をかたる男から「捜査上に名前が浮上している、今日愛知県警に出頭できるか」などと言われた。相談者が無理だと答えたところ、電話が切れた。
6	郵便局員をかたる不審電話の発生について	1月22日（水）午前9時30分頃	横手市居住の80代女性	なし	相談者宅の固定電話に郵便局員をかたる男から電話があり「家族と一緒に暮らしているか、お金を多くもらっているから手続をとりたい」などと言われた。相談者は不審に思い、客が来たと答え、電話を切った。
7	愛知県警等をかたる不審電話の発生について	1月22日（水）午後0時45分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に、愛知県警をかたる女から「詐欺グループのリーダー格が逮捕された、家宅捜索したら、あなた名義のキャッシュカードが出てきた、リモートで取調べする」等と電話があった。電話は、警視庁の警察官や検察を名乗る男に代わり、「資金洗浄だから紙幣の番号を調べれば分かる、コンビニのATMに行ったら口座番号を伝えるので全額振り込んでください、振込が終わるまでは電話を切らないでください」などと現金を振り込むよう指示された。相談者は不審に思い、通話をしたまま横手警察署に立ち寄って警察官に相談したところ、相手は一方向的に電話を切ったため、被害はなかった。
8	警視庁をかたる不審電話の発生について	1月24日（金）午後0時5分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に非通知で電話があり、警視庁捜査二課をかたる男から「事件を調べているところで、あなたの名前が出ている」等と言われた。相談者は、相手が名前を名乗らなかったことを不審に思い、これから横手署に向かうなどと答えると、相手が電話を切ったため、被害に遭わなかった。
9	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	1月10日（金）から1月25日（土）まで	横手市居住の50代女性	アップルギフトカード500万円分	被害者が、音楽グループ「Da-iCE」（ダ・ice）のTikTokをフォローしていたところ、1月10日、同グループメンバーを名乗るアカウントから被害者のスマートフォンに、「LINEのアカウントを教えてほしい」とのダイレクトメッセージが届いた。その後、LINEでやり取り中「私たちと会うには面会を申し込む必要があり費用がかかる、銀行から300万円借りて私に送ってください」などと指示された。被害者は、1月14日から1月25日までの間、コンビニエンスストアにおいて、22回にわたってアップルギフトカード合計500万円分を購入して相手に番号を送信し、だまし取られたもの。
10	大阪府警をかたる不審電話の発生について	1月30日（木）午後0時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「+」で始まる電話番号から着信があり、警察を名乗る男から「特殊詐欺の犯人が捕まり、あなた名義のキャッシュカードが押収された」等と言われた後、大阪府警や検察を名乗る男に電話が代わり、ビデオ通話で逮捕状と書かれた紙を見せられ「あなたの口座を凍結する、犯人かどうかを確認するためにお金を振り込んでもらう、照合すれば犯人かどうか分かる、100万円振り込めるか」などと言われた。相談者は不審に思い、近くの交番に相談に行き、被害はなかった。
11	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	J A秋田ふるさと山内支店職員は、1月28日、来店した男性が送金手続をしようとしたため、理由を確認したところ「未公開株を購入する」などと申し立てたことから、特殊詐欺の被害を疑い、警察へ通報するなどし、被害を未然に防止したもの。

12	大阪府警をかたる不審電話の発生について	1月31日（金）午後0時15分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８０」から始まる電話番号から着信があり、大阪府警をかたる男から「マネーロンダリングの事件の捜査中にあなた名義のキャッシュカードが出てきた、容疑者になっているので大阪府警に来てもらえないか、信用できなければ秋田県警に令状を持っていかせる」などと言われた。相談者は、電話をつないだまま近くにいた知人に相談したところ、詐欺の疑いがあると言われたため、電話を切った。
13	ＮＴＴ代理店をかたる不審電話の発生について	2月1日（土）午前11時30分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者宅の固定電話機に、ＮＴＴの代理店をかたる自動音声から「この電話番号は2時間後につながらなくなります、詳しくは番号を押してオペレータに確認してください」と電話があった。相談者が固定電話機の番号を押したところ、電話に出たオペレータを名乗る男から「ＮＴＴの不具合です、お客様の個人情報を確認するので名前、生年月日を教えてください」と言われ、個人情報を答えたところ、電話が切れた。その後、男からの連絡はなく、現在のところ金品等の要求や被害はないが、不安に思った相談者が警察署に相談したものの。
14	ＮＴＴファイナンスをかたる不審電話の発生について	2月2日（日）午後2時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋１」から始まる電話番号から着信があり、電話に出たところ、男の声で「ＮＴＴファイナンスの未納料金」に関する自動音声の流れ「１」の番号を押すように指示された。自動音声の指示に従い「１」の番号を押すと、音声通話に切り替わり、男の声で「クラウドサービスの料金が未納のため半年分を納めて欲しい、既に法的措置に入っているので裁判所から通知が来るかもしれない」などと言われた。相談者は、全く身に覚えのないことであったため、不審に思い、電話を切った後に警察に通報した。
15	長野県警をかたる不審電話の発生について	2月7日（金）午後2時35分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、長野県警をかたる男から「保険証を手元に準備してください」などと言われた。相談者が無言のまま男の呼びかけに応じなかったところ、電話が切れた。
16	警視庁をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後0時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「今回、重大なことを伝えなければならぬ」などと言われた。相談者がどこの警察かや相手の連絡先を確認したところ、架空の電話番号を言われたため、不審に思った相談者が指摘したところ、電話が切れた。
17	長野県警をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後5時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８７」から始まる番号から電話があり、長野県警察をかたる男から「詐欺グループの捜査をしている、名前が名簿に載っている」などと言われた。相談者は電話の内容から詐欺だと思い、地元の横手警察署に確認すると言ったところ、男が電話を切った。
18	警視庁をかたる不審電話の発生について	2月13日（木）午後5時55分頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８７」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「長野県警からの依頼だ、長野県警捜査二課で捜査している事件の名簿に名前がある、長野県警まで出向くことはできるか。」などと言われた。相談者は電話の内容を不審に思い、地元の警察に確認すると言ったところ、男が電話を切った。
19	警察官をかたる不審電話の発生について	2月14日（金）午後5時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる電話番号から電話があり、警察官をかたる男から「警視庁と長野県警で合同捜査をしている、捜査の過程であなたの名前が浮上した、今から長野県警に来ることはできるか、一人になれるか」などと言われた。相談者が一人にはなれない旨告げたところ電話が切れた。
20	不審電話の発生について	2月21日（金）午後3時頃	横手市居住の10代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、自動音声で「未納料金があります、このまま支払がないと法的措置に移行します、1番を押してください」などと言われた。相談者が「１」のボタンを押したところ、男が電話に出て「29万5,000円の未納料金がある、間違いで登録した場合は救済措置で95%オフとなる、親の生年月日を教えてください」と言われた。相談者が親の名前と生年月日を答えたところ、さらに男から家族構成を聞かれたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
21	携帯電話会社等をかたる不審電話の発生について	2月25日（火）午後2時30分頃	雄勝郡東成瀬村居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、携帯電話会社を名乗る女から「あなた名義で不正契約されている、迷惑電話が多数発生している」などと言われた。その後、福岡県警捜査第二課を名乗る男に電話転送され「本来被害届は受け付けませんが、今日は特別に受ける、あなたの電話を緊急停止することもできる」等と言われたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
22	愛知県警をかたる不審電話の発生について	2月27日（木）午前9時15分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「あなたの銀行口座が犯罪に使用されている、容疑者の一人なので話を聞いてもいいか」などと言われた。相談者が、相談するのでもう一度電話してほしいと答えたところ、男は「公開捜査でないので他の人には言わないで」などと言って電話を切った。
23	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年10月19日（土）から令和7年1月17日（金）まで（2月に警察相談）	横手市居住の50代女性	暗号資産合計6,020万円相当	令和6年10月、インスタグラムを通じて韓国在住の男をかたる者と知り合い、ＬＩＮＥのやり取りをするうちに相手に好意を抱くようになった。相手から「いい投資の話がある、少額からでも始められるから大丈夫だ」と投資に誘われ、暗号資産取引業者に登録し、暗号資産の投資を始めた。相手からは利益が出ていると説明を受けていたため信用し、指定された暗号資産取引用アカウントに11回にわたり、合計6,020万円相当の暗号資産を送金してだまし取られたもの。
24	警察職員等をかたる不審電話の発生について	3月1日（土）午後1時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、電話会社の職員をかたる男から氏名や生年月日を聞かれ「あなたの名前で携帯電話が不正に契約されている、契約先は青森県の店舗で、今から2時間以内に青森警察署に被害届を出さないと携帯電話が使えなくなる」などと言われた。相談者が行けないと伝えると、緊急で被害届を受理するとして、青森警察署員を名乗る男に電話が代わった。住所や家族構成等を聞かれた後「捜査を進める上で、もう一度電話をかけるかもしれない」などと言われ、電話が切れた。不安に思った相談者が、職場の上司に相談し、詐欺の可能性を指摘され、警察に相談した。

25	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	3月6日（木）午前9時50分頃	横手市居住の50代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる女から「あなたのキャッシュカードが犯罪に使用されています、この事件は京都で捜査しているので京都に来ることはできるか」などと言われた。相談者が行けないと答えたところ、京都府警職員を名乗る男に代わり、「あなたの口座に6千万円が入金され、マネーロンダリングの動きがある。」などと言われ、口座の残高を聞かれた。女性が答えると電話が切れた。
26	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	3月6日（木）午前10時40分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる男から「参考人として話を聞きたい、神奈川県警に来られるか」などと言われた。相談者が、「行けない、最寄りの警察署に確認してから電話する」と伝えたと電話が切れた。
27	山口県警をかたる不審電話の発生について	3月8日（土）午後3時50分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「080」から始まる電話番号から男の声で電話があり「山口県警だが、マネーロンダリングの捜査であなたの情報が出てきた、山口県警に来ることはできるか」と聞かれた。相談者が行けないと答えたところ、男から「電話で対応するので一人になれるか、後でかけ直す」等と言われた。相談者は電話を切り、不審に思っ警察に相談した。
28	警視庁をかたる不審電話の発生について	3月10日（月）午前9時30分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に警視庁をかたる男から電話があり「あなた名義のクレジットカードが犯罪に利用されている」などと言われた。身に覚えがないことを伝えたと「今日中に宮城県警に出頭してほしい、令状を持ってそちらに行く」などと言われた。相談者は、時間がないから電話を切ると伝えたと、相手が電話を切った。
29	特殊詐欺被害の発生について	3月11日（火）午前9時頃～	横手市居住の50代男性	現金合計約480万円	3月11日午前9時頃、被害者の携帯電話に警視庁捜査二課を名乗る男から電話があり「振り込め詐欺事件の被疑者が逮捕された、管轄が奈良県警なので転送する」などと言われた。電話の相手が奈良県警をかたる別の男に代わり、ビデオ通話で警察手帳らしき物を見せられ「あなたは口座を犯人グループに譲渡した、今すぐ奈良県警に出頭するか、資金調査が必要だ、出頭すると逮捕される」などと言われた。被害者は資金調査に応じると伝え、指定された口座に2回にわたり、現金合計約480万円を振り込んだ。被害者は相談した家族に詐欺だと指摘され警察に届け出た。
30	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和6年6月頃から令和7年3月11日まで	横手市居住の60代男性	現金約786万円	令和6年6月頃、被害者のフェイスブックにオーストラリア居住の日本人女性を名乗る者から「自分はガンで闘病中だ、資産家だった夫が残した財産を日本の困っている人に寄付したい、手続きを手伝ってくれたら財産の30パーセントをプレゼントする」などとメッセージが届いた。被害者は、財産を入れた荷物を韓国経由で日本に送るための輸送料や税金名目で、指示に従い、個人名義の口座に、計8回にわたり現金合計約786万円を振り込み、だまし取られた。3月11日、輸送会社を名乗る者から「荷物は秋田空港に入ったが関税が230万円かかるので通れない」と追加の支払いを求めるメールがあり、不審に思い警察に相談した。
31	大阪府警をかたる不審電話の発生について	3月12日（水）午後4時10分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に大阪府警の職員を名乗る女から「詐欺事件の犯人があなたのカードを持っていた、あなたも共謀している可能性が出てきた、このことを誰かに言えば個人情報保護法違反になる」などと電話があった。相談者は電話の内容を不審に思い、警察に相談した。
32	警察官をかたる不審電話の発生について	3月15日（土）午前11時頃	宮城県仙台市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に警察をかたる男から電話があり「詐欺グループの捜査であなた名義の口座が事件に使われていることがわかった」と伝えられた。相手が捜査二課をかたる男に代わり、LINE通話に誘導され、警察手帳のようなものを見せられ、「口座を詐欺グループに売ったことは罪になる、マネーロンダリングに加担した疑いがある」と言われた。来週また電話すると言われて電話が切れたが、不審に思った相談者が警察に相談した。
33	警視庁をかたる不審電話の発生について	3月17日（月）午後5時頃	横手市居住の70代女性	なし	相談者宅の固定電話に「800」から始まる番号から電話があり「警視庁遺失物総合窓口です、重要なお知らせがあるのでこのまま聞きたい場合は1を押してください」と自動音声流れた。相談者宅の固定電話は留守番電話設定になっており、相談者は電話に応答せず警察に相談した。
34	デジタル庁等をかたる不審電話の発生について	3月19日（水）午後1時頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者宅の固定電話にデジタル庁管理局のハセガワを名乗る男から電話があり「あなたの携帯電話から不特定多数に迷惑メールが送られている、1時間以内に電話を止める」と伝えられた。不審に思い電話を切ると、秋田県警のミズタニという男から電話があり「これから押収する、身に覚えはないか」と聞かれた。相談者が詐欺ではないかと話すと電話が切れた。
35	奈良県警をかたる不審電話の発生について	3月28日（金）午前8時頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「+」から始まる番号の電話があり、奈良県警を名乗る男から「あなたはある事件の関係者になっている」などと言われた。相談者がどんな事件ですかと尋ねると相手が口ごもったため詐欺の電話だと思い、電話を切った。